

りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとるらいふ
発行日：2021年5月

満開だった桜もあつという間に葉桜に変わりましたね🌸気温も暖かくなり、より一層春らしくなってきました！気持ちもウキウキ♪おでかけしたくなる陽気ですが、まだまだコロナには要注意…！手洗いうがい、マスクを忘れずに春を楽しみましょう！今月号も、見どころ沢山となっていますので、ぜひご覧ください♪



新事業部長あいさつ

事業部長就任のご挨拶 ~ただいまです。片桐です~

この度、りとるらいふの事業部長に就任いたしました。片桐公彦です。

かつては「みんなでいきる」の職員で同じく障害福祉事業部りとるらいふの事業部長をさせていただいておりましたが、平成29年4月からこの春まで、厚生労働省で障害福祉専門官という仕事をしておりました。今回、4年ぶりに復帰しました。初めての方々は、どうぞ、よろしくお願いいたします。お久しぶりの方々はご無沙汰しておりました。また引き続きよろしくお願いいたします。

厚生労働省でのお仕事は初めての単身赴任、初めての満員電車での通勤、初めての国会対応、などなど全てが初めてで、緊張の連続でした。大変に過酷で業務量が多く、難易度の高い職場でしたが、その全てが自分を成長させてくれた得難い経験でした。

昨年度の1年間は新型コロナウイルスの感染拡大により、関東圏に緊急事態宣言が発令され、都道府県をまたいだ移動がままならず、新潟に帰ってくることはおろか、自宅からもなかなか出ることができず、1人テレワークをしたり、職場での会話も最小限といった生活を送っていました。世の中の動きに目を向けると、特に女性自殺者の増加や、更には若年層(15歳~39歳)の自殺者数が過去最高で、これは先進国の中では日本だけに特化した現象でした。

緊急事態宣言の真只中に身を置き、強い制限のかかる生活が続く中で強く感じたのは「孤独と孤立」という感情でした。誰とも会わず、1人で過ごし、いつ終わるか分からない不安な生活を続けていく中で、自分の存在が標高の高い山々に漂う空気のように薄くなり、体が徐々に透けていって、最後は消えてなくなってしまうのではないか。

もしかしたら一生家族や親しい仲間に出会うことなく、このままこの世界から忘れ去られていってしまうのではないかと、そんな事を考えました。それは本当に深く、無慈悲で容赦のない、きっぱりとした「孤独」という感情でした。その感情はいずれ、自らの命を絶つて、この世界から消えてしまったらと自分と自分を重ねるようになっていきました。孤独や孤立とは、心身をこんなにも生きる希望や活力を奪ってしまうものなのだという事を知ることになりました。

同時に、その思いは、福祉の仕事の原点となる大事なものを再び思い出させてくれました。つまり福祉の仕事の原点は孤独や孤立を解消し、自分らしく生きていくことをサポートすることだ、ということです。

自分が得たこの体験や感情の震えを、これからの「りとるらいふ」の仕事にも活かしていきたいと思っております。

改めまして。ただいまです。片桐です。帰ってきました。どうぞ、よろしくお願いいたします。



新入職員紹介



きら



4月からみんなでいきるに入職させていただきました。お部屋流々風(かるるるか)と申します。これから利用者さんや先輩職員の方々との関わりを通して「福祉」についての学びを深めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



4月から「とも」で働かせて頂いてます、小浦方陽和(こうらかたひより)です。名前の由来でもあるように、「とも」で太陽のように明るく、皆様を和ませる存在になれるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



とも

放課後等デイサービス「もーと」の配属になりました、今村結佳です。大学は新潟県立大学を卒業しました。また、ダンスサークルに所属していたので、利用者様と一緒に楽しく体を動かしたり踊ったりしたいと思っております！



もーと

にこの制作紹介

にこでは染め物を行いました。マスクケースに好きな色で絵や模様を描き、上から除光液をかけると、、、きれいに滲みオリジナルマスクケースの完成！滲む様子に不思議そうな顔をする子どもたちでした。



もーと

もーとは、5月9日の母の日に向けてフラワーボックス作りをしました。色とりどりのお花を組み合わせて、箱に詰めたら…素敵なフラワーボックスの完成!! おうちの人の喜ぶ顔を思い浮かべながら、楽しく作ることができました!



4月の日曜日イベントは、長岡悠久山公園へおでかけでした。広い公園を駆け回り、お昼には長岡名物小嶋屋さんのおそばを食べてきました。新年度になり進級したお兄さん達が年下のお友達の面倒を見ている姿に、頼もしさを感じました(^_^)。次の日の利用日にも「おそばまた食べたい。」「みんなと一緒にうれしい。」と話が盛り上がっていました。



ららん

4月の日曜日イベントは、長岡悠久山公園へおでかけでした。広い公園を駆け回り、お昼には長岡名物小嶋屋さんのおそばを食べてきました。新年度になり進級したお兄さん達が年下のお友達の面倒を見ている姿に、頼もしさを感じました(^_^)。次の日の利用日にも「おそばまた食べたい。」「みんなと一緒にうれしい。」と話が盛り上がっていました。



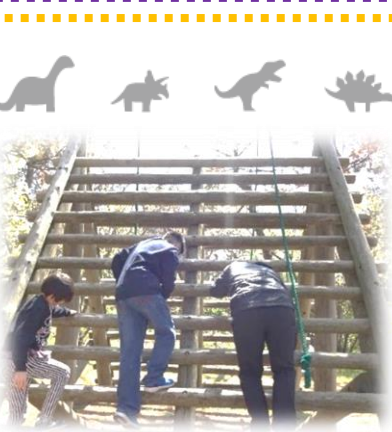
きら

陽春の候いかがお過ごしでしょうか、生活介護きらです。1人1人に合った支援と環境を提供することをモットーに、新たな活動の提供と環境の調整を行いました。まだまだ不慣れなことも見られますが、職員もまた新鮮な気持ちで支援をさせて頂いています。



とも

4月を迎え、新たなご利用者様が通所されることとなり、とも通所式を行いました。ご利用者様から新しく加わる仲間への花束の贈呈では、周りから「これからどうぞよろしくお願ひ致します!」の拍手が鳴り響きました。ともでの毎日が素敵なものになりますように…



にこ

春休みには少し足をのばしてアスレチックに行ってきました。「怖い!」「できたよ!」と子どもたちの賑やかな声が響いていました。登りきった時には得意げな表情を見せられましたよ! 晴れた日にはおもしろい体動かすのもいいですね。

各部門活動紹介♪



「じょんぎ」

障害福祉事業部りとるらいふ 居住生活支援課長 片田竜一



今年も「りとるらいふ」に新卒職員が新たな仲間に加わりました。初めての職場、慣れない初めての土地、初めて尽くしで大変なことだと思います。その初めての間に聞き慣れない言葉「方言」もあるかもしれません。

「じょんぎ」この言葉を知っていますか? 意味は参考文献「頸城の方言」著者の小林勉氏によると 情誼。あいさつ。「あいつは道であっても、ろくなジョンギも言わないで通り過ぎて行った」と記載がありました。「情誼」とは人とつきあう上での義理・博愛。

年上の方に意味を聞いたところ相手に敬意を払い思いを持って接すること。誠意を持ち接するような意味のようです。私の解釈が間違っていて指摘があるかもしれませんが、義理と人情と思いやりや誠意を含む言葉なのではと私なりに解釈しています。ただ、「じょんぎ」と言う言葉を使うことはありませんが、私の尊敬する先輩が常々、「片田くん支援は義理と人情と思いやりだよ」「義理と人情だけでは足りない」そこに「思いやり」があってこそ支援なんだ!とされていました。

この「じょんぎ」に近い「義理と人情と思いやり」を言葉通り実践する先輩の姿を見てきた私にとって人生の指針であり、仕事をする上で大切な土台となっている言葉です。その「義理と人情と思いやり」の言葉を一昨年の柏崎市で行われたサービス管理責任者(サビ管)の更新研修で耳にしました。研修の最後にサビ管講師の方が「サビ管は義理と人情と思いやりを持ち」と言われたことに驚いたことと先輩の影響だとすぐに分かり、支援の流儀、心意気が脈々と受け継がれている事をうれしく思い研修アンケートの最後に義理と人情と思いやりで頑張る決意を書き提出したことを記憶しています。ちなみにその先輩から他に「宴会の流儀」も教わりました。例えば宴会の終わり方「おつもりルール」など(笑)。

方言に戻りますが、意味が一つの方言もありますが、いくつかの意味があり何となく「ふわっと」した表現が方言の良いところだと思います。これからも「ちゃわちゃわ」して「しょーしい」失敗もしながら成長していきたいと思いますので、今年度もよろしくお願い致します。



～放課後等デイサービス事業所、事業所評価を実施しました～

令和3年度も放課後等デイサービス事業所ららん、にこ、もーとでは、事業所評価を実施しました。結果については、法人ホームページに掲載し、また各事業所玄関にも掲示しております。ご協力いただきましたご家族の皆様、ありがとうございました。

